栃木県看護連盟だより

2024年
1月発行
第73号

2023年度
栃木県看護連盟会員数

連盟 7,236名
協会 11,848名

(2023.12月末現在)

保健師	145名
助産師	286名
看護師	6,608名
准看護師	197名
合計	7,236名

協会比 61.1%　賛助会員 147名

発行者：栃木県看護連盟
〒320-0838 宇都宮市吉野2-8-15
TEL 028-610-1035
発行責任者：栃木県看護連盟会長 宮本律子
印刷所：㈱松井ピ･テ･オ･印刷

INDEX

新年のごあいさつ
宮本律子・髙原静子・朝野春美・あべ俊子 ……2
たかがい恵美子・石田昌宏・友納理緒・中島まゆみ ……3
医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望 ……4
2023年度県別会議・2023年度支部別会議 ……5
中堅研修会・会員研修会(国会見学)に参加して ……6
会員・賛助会員研修に参加して 水引き ……7
心に残るエピソード・起き上がりこぼし ……9
我が家自慢のペット紹介 ……10
おいしいお店の紹介 ……10

2024年 新年のごあいさつ

木県看護連盟会長
宮本律子

栃木県看護連盟会員の皆様、あけましておめでとうございます。看護連盟の活動に関しご支援、ご協力いただき感謝 申し上げます。

この度の能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

昨年5月より新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられましたが、医療の現場で働く皆様には、まだまだマスクが外せない毎日を送っています。毎日の努力と活躍に感謝とともに敬意を表します。

昨年は兎年ということであり、看護界にとりましても飛躍の年であったと思っています。医療職3表の改定が実施され、看護職員処遇改善評価料の新設、更には看護補助者の賃金アップにもつながりました。看護職の賃上げにおいては、11月の国会での石田議員の質問に答える形で岸田首相より「…そういった点を念頭に置きながら改定（診療報酬改定）に取り組む」という言葉を引き出しました。更に県選出の国会議員の方々にも看護協会とともに要望書を提出してきました。結果を楽しみに待ちたいと思っています。

さて、本年は辰年で「春の日差しがあまねく成長を助く年」といわれ、急速な成長と変化を誘う年になるそうです。看護職全体がその仕事の重要性に見合った賃金アップとなり、働きやすい職場に変化していくことを願うばかりです。そして、来年の参議院選挙で組織内候補者として決定されている石田まさひろ議員を、三度国政の場に送り届けていくべく活動を活発化していきましょう。会員の皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

日本看護連盟会長
髙原静子

新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様にはどんな抱負を胸に新しい年を迎えられたのでしょう。

今なお、最前線で感染症に対応して頂いている看護職の皆様に改めて感謝と敬意を表します。

2024年は辰年です。諸説ありますが、たつは空想の生き物で、陽気が動いて振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われているそうです。

看護連盟は2024年も変わることなく、「現場の課題」を看護政策としてその実現に向け活動し、「看護連盟があってよかった」と存在意義が実感できる組織作り、活動を目指してまいります。

さて、2024年は時期不明ですが衆議院選挙の年になることでしょう。 現在の4人の看護職国会議員が一人も欠けることなく活動していただくためには皆様のご協力が必要です。また、次期参議院選挙の組織内候補予定者「石田まさひろ参議院議員」の後援会活動も開始いたしました。皆で力を合わせ頑張りましょう。

栃木県看護協会会長
朝野春美

あけましておめでとうございます。連盟会員の皆さまには、日頃より栃木県看護協会の活動にご支援とご協力を賜わり心より感謝申し上げます。

感染症法上、5類に移行したとは言え、相変わらず新型コロナウィルス感染症への脅威が続く中、医療等の最前線で日々ご尽力いただいている看護職の皆様に、感謝と敬意を表します。

さて、少子高齢化が猛スピードで進む中、2025年問題、更には2040年問題への対応を迫られています。看護協会では2015年から「看護の将来ビジョン」を掲げ、どのような健康状態でもその人らしく暮らしていける社会を目指して「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実践に取り組んでいます。

看護職の役割期待が拡大し、より質の高い看護の提供が求められる昨今、看護職がよりよい活動を展開するには、われわれを取り巻く環境や制度の充実が不可欠です。そのために、今後も看護連盟と看護協会が協働して、政策実現に向けて取り組んでまいります。

どうか、本年もよろしくお願いいたします。

議院議員
あべ俊子

あけましておめでとうございます。本年も、地元岡山から元気に活動を開始いたしました。

昨年はウクライナ侵略に加え、パレスチナ・ガザ地区の情勢変化もあり、安全保障問題が浮き彫りとなった一年でした。日本の国益に加えて、世界全体の国際益を考えることが日本の品格と考えています。毎年、国会閉会後には海外視察を実施しております。昨年はコロンビアの避難民シェルター、アフリカの国々を訪問し、福祉から経済まで幅広く視察することができました。IT化が進み世界との距離も近くなりましたが、国内外問わず、オンラインだけでは得られない情報があります。これからも可能なかぎり、現地・現場を訪問させていただき、本当に必要とされる政策立案を目指して参ります。

新年の清々しい空気は、いつも初心を思い起こさせます。「看護の現場を守る。看護職を守る。そのために制度を変える。」この初心を忘れずに、今年も活動してまいります。

衆議院議員
たかがい 恵美子

明けましておめでとうございます。穏やかな初春に栃木県看護連盟の皆様のご健勝を慶賀申し上げます。国内外の情勢変化激しい折、一貫して国民福祉の向上にご尽力賜り誠にありがとうございます。

尊厳を重視した包摂性の高い成熟社会を形成していく上では、看護政策をはじめ社会保障制度のさらなる充実強化が不可欠です。各々が幸せを実感できる人生100年時代となるよう、皆様とともに専門職の知見を活かして、変化に対応する公共政策を着実に実現してまいります。

先の臨時国会おいて、衆議院東日本大震災復興特別委員会の委員長に選任され、党政調では前年に続き、性的マイノリティ特命委員会の委員長を務める他、女性の生涯の健康に関するPTで座長を預からせていただいております。いずれも時機を失することなく解決策を講じるべく、現場優先に広く意見を聴取して、粘り強く議論を展開しております。

各地でご活躍の皆様の笑顔が守られ、ご家族共につつがなく過ごされますことを願い、新年のご挨拶といたします。

参議院議員
石田昌宏

栃木県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

「看護婦等の確保を推進するための措置に関する基本的な指針」が31年振りに改定されました。これは、日本看護連盟・日本看護協会から指針改定の要望が看護問題小委員会に提出され、政府へ改定を要請した賜物です。看護師の確保推進という指針の目的を果たすため、時代に即した指針への改定が実現しました。

国会においては、予算委員会理事（次席）、厚生労働委員会委員、参議院自民党国会対策委員会副委員長を拝命いたしました。特に、予算委員会は社会の注目を集める難しい委員会ですが、役目をしっかりと果たしていけるよう尽力いたします。また、国会対策委員会副委員長として円滑な国会運営に向けて走り回ると共に、厚生労働政策を推し進めていきます。

本年も引き続き、現場の声をしっかり受け止め、看護連盟・看護協会と連携しながら活動して参ります。

参議院議員
友納理緒

謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、この度の地震により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

皆さまに国政の場へ送り出していただいてから約1年半が経過しました。昨年の国会では、参議院の委員会で、看護職の処遇改善、来るべき有事に備える内閣感染症危機管理統括庁への看護職の積極的な登用、訪問看護への支援等を訴えました。年始に始まった通常国会においては、看多機の定義を明確にする介護保険法等の改正もなされ、看護師出身の弁護士として看護職に関する法律を整備する自身の役割を再確認したところです。

看護職の処遇改善については、昨年の当選後、寝たきりだった医療職俸給表の改定がなされ、選挙で訴えていたことが1つ実現しました。これから年末にかけては、来年の診療報酬等のトリプル改定に向けて、議論が加速していきます。この改定が皆さまの給与アップに繋がるようにしっかりと取り組んでまいります。

看護の現場の声を国政に！本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。

足利市議会議員
中島まゆみ

あけましておめでとうございます。栃木県看護連盟の皆様におかれましては清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年4月に行われた統一地方選挙では、栃木県看護連盟のご推薦と選挙期間中の温かい応援をいただき足利市議会議員選挙にて無事3期目の当選をすることが出来ました。2040年問題に向けた医療介護体制の強化や健康長寿社会に向け、引き続き全力で取り組んで参ります。

昨年は新型コロナの流行がひと段落したのも束の間、インフルエンザの流行などでなかなか心休まらない毎日をお過ごしであったと思います。そんな中でも私たちの社会を支える礎として日々医療サービスを提供していただいておりますこと心からの敬意と感謝を表します。

市民に1番近い政治家・市議会議員として栃木県看護連盟の皆様が安心・安全に働き、生活できるよう、尽力することをお誓いすると共に皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

要　望　書

医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望

去る11月22日に栃木県選出の国会議員の方々に、看護職の賃金アップに関する要望書を看護協会とともに提出してきました。これは、5月に岸田総理へ日本看護協会と日本看護連盟共同で提出しましたが、来年の診療報酬改定を前に改めて日本看護連盟・看護協会が再度提出し、更に後押しする形で全国の連盟・協会が地元の国会議員に要望書を提出しました。12月1日に行われた令和6年度予算編成基本方針を検討していく政調全体会議において、多くの国会議員が我々の意見を代弁してくださいました。

令和５年１１月２２日

様

栃　木　県 看 護 連 盟
会　長　宮　本　律　子

公益社団法人 栃木県看護協会
会　長　朝　野　春　美

医療機関等の看護職員の賃上げを可能とする財政支援に関する要望

国においては、「新しい資本主義」の実現に向け、人への投資と分配を進めるとされています。現に、産業界では政府の方針に沿って賃上げが進んでいます。しかしながら、医療機関や訪問看護ステーション、介護保険施設等は公定価格（診療報酬、介護報酬等）により運営されており、電気代等のエネルギー関連費用をはじめとする諸物価高騰の直撃を受けてもこれを価格に転嫁することができず、職員の賃金引上げを行いたくてもそのための原資がないという状況です。令和４年度診療報酬改定では「看護職員処遇改善評価料」を新設していただき、大変感謝しておりますが、これも一部の医療機関に勤務する看護職員のみを対象としているため、看護職員だけを見ても、全体の３分の２にあたる約 100 万人がなお対象とならない状況です。

先般、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画において「すべての職場における看護師のキャリアアップに伴う処遇改善のあり方について検討する」とされたことを踏まえ、国家公務員医療職俸給表（三）が見直され本年４月より施行されました。これを契機に、民間病院等の看護職員の賃金に波及することが期待されますが、これも医療機関等の経営が成り立ち、安定して原資が確保できることが前提となります。このような状況にあって、すべての看護職員の賃上げを実現するには、国からの医療機関等に向けたさらなる財政措置が必要です。

医療・福祉分野の就業者数は、2022　年平均の就業者数 6,723 万人の 14%にあたる 908 万人おりますが、そのうち約 19%（173.4 万人, 2020 年就業者数）が看護職です。すべての看護職員の賃上げを実現することは、労働者の所得向上につながり、成長と分配の好循環が実現します。

つきましては、医療機関等の経営を支え、すべての看護職員の賃金引上げが可能となるよう、以下の事項につきまして、実現していただくべく格別のご高配を賜りますよう要望します。

要　望　事　項

1. 物価高騰に苦しむ医療機関、訪問看護事業所、介護保険施設・事業所等の経営を支援し、すべての看護職員の処遇改善が可能となるよう、必要な財政措置を講じられたい。

2. 令和６年度診療報酬改定において「看護職員処遇改善評価料」の対象をすべての看護職員に拡大するとともに、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定において同様の措置を講じられたい。

石田まさひろ参議院議員　来県

令和6年3月2日（土）

国政報告　　9:30～　ZOOM
　　10:30～　集合　コンセーレ大ホール

ぜひご参加ください

2023年度　県別会議

日　時　9月11日（月）　**会　場**　コンセーレアイリスホール

日本看護連盟より柳谷常任理事、栃木県看護協会より朝野会長、五月女専務理事、渡邉常任理事を迎え、開催されました。

協議事項は1．会員数の動向を見据えた会員確保のための対策について、2．これまでの参議院選挙の課題を踏まえ、栃木県が取り組むべき今後の政治活動対策について、活発な意見交換がされました。会員確保については、２０代３０代の会員数が少ないため、若手会員向けの周知活動や、学生向けにアプローチを考えていきたい。連盟活動が重要であることを意識づけしていくことが必要である。次期選挙に向けては、確実な投票数を増やすことが重要である。石田まさひろ氏のアピールとともに、確実に投票してくれる協力者を得ていくなどの意見がありました。

今後も看護職にとってより良い政策と実現に向けて、協会・連盟共に活動を推進していきたいと思います。

足利支部　塩田利江

2023年度　支部別会議

2023年度の支部別会議が9月・10月にリモートで開催されました。今年度は、①支部活動について②OBとの連携ついて③県連盟への要望について、事務局と各支部の意見交換ができました。各支部との意見交換で課題が明確となり、課題解決に向け、更に活動を活発にして行きたいと思います。

看護連盟会長から、2025年の参議院選挙では、石田まさひろ議員が組織内候補予定者に決定いたしました。上位で当選できるよう、一丸となり応援しましょう。

新型コロナウイルス感染症が、2023年5月8日に2類から5類に変わりましたが、コロナウイルスが消滅したことを意味するのではありません。新型コロナウイルス感染症に対する、認識、対応が変わりましたが、医療の現場は、まだまだ大変な状況で課題が満載です。

支部別会議も対面で行い、現場の声を届け、今後の連盟活動が更に活発になり、ますます発展できることを期待したいと思います。

塩谷・塩原支部　室井幸江

【出席者】

看護部長・支部長・支部幹事長・青年部　等

【所要時間】

２０分～３０分

【内　容】

・支部活動について

・ＯＢとの連携について　　他

支部名	開催日	時　間	会　場
済生会宇都宮	9/28　木	14：30～	ZOOM
自治医大	9/28　木	15：30～	ZOOM
日　光	10/2　月	14：30～	ZOOM
大田原	10/2　月	15：30～	ZOOM
塩谷・塩原	10/2　月	16：15～	ZOOM
佐　野	10/12　木	13：30～	ZOOM
菅　那	10/12　木	15：30～	ZOOM
国際医療福祉大学	10/12　木	16：15～	ZOOM
小　山	10/16　月	13：30～	ZOOM
芳　賀	10/16　月	14：30～	ZOOM
獨協医大	10/16　月	15：30～	ZOOM
鹿　沼	10/19　木	11：00～	ZOOM
ＪＣＨＯうつのみや	10/19　木	13：30～	ZOOM
足　利	10/19　木	14：30～	ZOOM
栃　木	10/19　木	15：30～	ZOOM
中央南	10/23　月	15：30～	コンセーレ小ホール

中堅研修会

日　時　**2023年9月26日（火）**
会　場　コンセーレアイリスホール
講　演　「働きやすい職場環境をめざそう」～心理的安全性を高めて～
講　師　自治医科大学附属病院
　　公認臨床心理士　星子　真美　様

講演を聞くことで、心理的安全性とはということを知ることができました。
日々の職場の中でストレス回避等困っていましたが、明日からの仕事に活かしていきたいと思います。
医療現場で心理的安全性を保つことがインシデント対応やアクシデント予防に効果的であるとのことからも意見を出し合えるような職場にできるよう努力していきたいと思います。また、グループワークで他施設の方々との意見交換ができ、とても有意義な時間となりました。

幹事長　山杉睦子

会員研修会（国会見学）に参加して

日　時　2023年10月4日（水）

今回、栃木県看護連盟主催の研修で国会議事堂見学に行き、建物自体の大きさだけでなく、完成までの年月や資金等のスケールの大きさに驚きました。その中で参議院議員である石田昌弘氏や友納りお氏をはじめ、県議会議員の方とお話でき、大変貴重な時間を過ごすことができました。日本において法律が成立し施行できるまでの道のりの険しさを実感し、同時に国政へ自分達の代表を送り出し続けることの重要性を改めて感じました。

その後は参加者全員が楽しみにしていたホテルランチビュッフェへ行き、美味しい食事を頂きながら各施設の方と交流が図れました。帰りはバスの車窓から日本看護協会ビルの見学を行い帰宅の途につきました。

獨協医科大学病院　大貫祐平

栃木県看護連盟会員・賛助会員研修に参加して

日　時　2023年11月28日（火）　**会　場**　コンセーレアイリスホール

宮本会長より、看護連盟の活動や日本看護連盟のあゆみについて講演していただきました。その中で、「看護職が活躍すると日本が明るくなる!」という言葉が印象的でした。これは、看護師は患者様のみならず、患者家族にも影響を及ぼすため、看護師がよい環境で仕事をし、良い看護をすることで患者様・ご家族を幸せに笑顔にできるということでありました。これを実現し持続するためには、私たちの職場環境・処遇がよいことが前提となり、政治の力が必要となります。そのため、看護師の代表を政界に送り、現場の声を届けていくことの重要性を再認識しました。

後半は、水引アクセサリー制作を行いました。今回は基本の「あわじ結び」を教えていただき、キーホルダーを作成しました。できあがりを想像しながら、水引の色を選び・あわじ結びをして水引のねじれを直していく工程は、単純ではありますが集中力のいる作業でした。慣れると短時間でできるようになり、作業中は無心になれ、完成時には達成感が得られ、とてもリフレッシュができ、楽しい時間を過ごすことができました。

佐野厚生総合病院　安藤友美

“参加者全員の力作です”

心に残ったエピソード

「心に残ったエピソード」とのテーマをいただき、自分の歩んできた看護師人生を振り返る時間を持つことができました。看護学生の時の受け持ちの患者さんから臨床を終えるまで関わった多くの患者さんが思い浮かんできました。その方たち以上に多くの患者さんたちとの関わりがあり、多くのことを学ばせていただいてきました。看護教員の会話しながらの介助により、あっという間に座位となれた術後の不安から動けずにいた若い女性、10～15㎝もの大きな褥瘡が3つもできていた80代の女性、亡くなる直前まで手鏡を手放さなかった50代の大腸がんの女性、末期の胃がんで胃管や点滴チューブにつながれ「自分は何も悪いことをしていないのに何故こんなに苦しまなくてはならないのか」と発していた中年の男性、新人看護師が入職してくると「注射の練習をしろ…」と上肢を差し出してくれた70代の男性、夜じゅう背部のタッピングを続け午前中の胸部レントゲンの結果を待つ小児……。

多くの患者さんたちとともにそのご家族の方々との関わりも多くあった。泌尿器系の癌で末期のご主人に付き添い、夜間になるとそばで死装束を縫っていた妻。呼吸器につながれ意識のわからない娘の名を呼び続ける70代の母もいました。やはり夫が泌尿器系の癌になり治療を受けていた妻は、来るたびごとに将来の不安を口に出していた。臨床を離れた後銀座線のホームで「師長さん」と呼び止められ、娘さんが看護系大学に入学したことを嬉しそうに話してくれた。市内のスーパーで買い物をしていた時には、「何も悪いことをしていないのに…」と話していた患者さんの妻に「〇〇の看護師さんですよね」と話しかけられ、当時中学生だった長男が独り立ちされたことを教えてくださった。その後も時々お会いする機会があり、当時若くして未亡人になられた方たち同志がランチと称して集まり、いろいろと自分たちのことを話し合い、お互いに悩みを打ち明けあい苦しい時を乗り越えてきたことを知った。また、その会話の中には当時の看護師の評価も含まれていたようであった。

新病棟の開棟にも関わった。開棟初日から入院がありその後も多くの患者さんやご家族の方々に接し、退院指導等もしてきているはずであったが、記憶に残っている方々は非常に少ない。その時期に多くの看護職が退職をしていったことは今でも胸が痛む。私が臨床にいた時期は、入院期間が長く患者さんともご家族の方々とも多くの時間を共有することができた時代であった。入院期間が短縮されている今日、患者さんやご家族とのエピソードにも随分と違いができてくるのではないだろうか。

今回、このようなテーマをいただくことにより改めて自分の看護師としての振り返りができました。機会をくださった広報委員の皆様に感謝申し上げます。

会長　宮本律子

起き上がりこぼし（勇気がでた出来事）

起き上がり小法師（おきあがりこぼし）は会津を代表する縁起物で、転んでもすぐに立ち上がるところから、粘り強さと健康のシンボルとして縁起がいいとされています。 毎年初市で家族の人数より1個多く買う習わしがあり、会津の家庭には欠かせない縁起物になっています。

～以下本文です～

30代半ばで突然の病棟から手術室への異動!

当然だが手術室では、解剖整理、術式、手術機械名、手術手順など様々なことを覚える必要がある。手術室での情報量の多さに頭がついていけず、久しぶりに大学ノートを購入して、マイノートを作成した記憶がある。当時の手術室では、異動して最初に実践するのが帝王切開の直接介助であった。（しかも異動後3日目!）手術前までは手術器械名や手術手順を覚えていたが、いざ始まったら手術のスピードに全くついていけず、頭の中は真っ白になり器械出しはお手玉状態!　医師からは「器械出し看護師誰かに代われ!」と言われ悔しい思いをした。そんな時、心の支えになったのがプリセプター（同期入職者）と当時の手術スタッフである。プリセプターは同期ということもあり、なんでも相談に乗ってくれ、失敗をしても周りのスタッフが一緒に支援し支えてくれた。あの時は本当に辛かったが、なんとか乗り越えて今も看護師を続けられているのは、当時の手術室スタッフの支援があったからこそだと思う。

JCHOうつのみや病院　蕪木亨有

我が家自慢のペット紹介

僕、ケイ5歳昼間は外を眺めながら過ごしてます。

夕方になると必ず玄関でお出迎え、お帰りニャン

おいしいお店の紹介

coffee＆おさんぽ レストラン プラス

栃木市大宮町 1949　TEL 0282-25-5355

営業日　火～土曜日
営業時間　11:00~14:30
18:00~22:00(日)
定休日　月曜日

営業時間・定休日は変更となる場合がございますので、ご来店前に店舗にご確認ください。

栃木市の住宅街にあるフレンチレストランです♪
『ローカルガストロノミー』を栃木市で実現するレストランを目指しています。
地元のオーガニック野菜や酒蔵・珈琲店との異業種連携で独自のフレンチの味をどうぞご賞味ください！住宅街と田園風景が混在する隠れ屋的な当店♪
ご来店心よりお待ちしております。
※本誌をお持ちいただくと何かしらのサービスがあります。

2023年度 研修会予定

1月19日(金)　年代別研修会（20代）
2月　5日(月)　看護連盟・看護協会合同研修会
3月　2日(土)　石田議員来県
2024年5月21日(火)ポリナビワークショップ(青年部)

2024年度 看護連盟総会予定

6月13日(木)　日本看護連盟通常総会
会場：ザ・パークタワー東京
6月17日(月)　栃木県看護連盟通常総会
会場：コンセーレ大ホール

編集後記

明けましておめでとうございます。会員の皆様には、看護連盟の活動にご協力、ご支援を頂きありがとうございます。

今年の干支の辰は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。

辰年に肖り、会員の皆様に「めでたいこと」がありますように。